

旧優性保護法による不妊手術の被害者救済

① 優性保護法に基づく不妊手術の実態調査の速やかな実施。② 都道府県が所有する「優性保護審議会」の資料の保全を図るとともに、資料管理状況の調査実施等を求める意見書。

日本年金機構の情報セキュリティ対策

① 外部有識者の調査組織による本事案の業務プロセスの徹底的な検証、② 委託業者の作業進捗管理手法や納品物の検証・監査体制の確立、③ 日本年金機構が保有する氏名、生年月日、住所、電話番号などの個人情報のあり方の再検討を求める意見書。

健康増進法の改正に際し、一層強化された受動喫煙対策の実現を

健康増進法の改正に際し、国民の受動喫煙による健康被害を可能な限り回避するため、より一層強化された受動喫煙対策の実現を求める意見書。

所属する委員会の紹介

常任委員会

総務委員会  伊藤康平	保健消防委員会  近藤千鶴子	 村尾伊佐夫	環境経済委員会  川岸俊洋	 桜井秀夫 (副委員長)	教育未来委員会  青山雅紀	都市建設委員会  酒井伸二 (委員長)	 森山和博
---	---	---	--	--	---	---	--

議会運営委員会：近藤千鶴子(副委員長)・酒井伸二

特別委員会

大都市制度・新庁舎整備調査特別委員会：伊藤康平・桜井秀夫

地方創生・オリンピック・パラリンピック調査特別委員会：近藤千鶴子・青山雅紀(副委員長)

広報委員会：伊藤康平(副委員長)

市政に関するご意見やご要望をお寄せください!

年齢・お住まいについて(該当するものに✓をおつけください。)

- ▶お住い 中央区 花見川区 稲毛区 若葉区 緑区 美浜区
▶年齢 20歳未満 20~39歳 40~59歳 60~74歳 75歳以上

お寄せいただいたご意見・ご要望については、政策提案等に役立てて参ります。 **FAX.043-245-5584**

公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 <http://gate.ruru.ne.jp/chibakomei/>

公明党千葉市議会議員団 市議会だより

発行日/平成30年7月 発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

2018
夏号

2025年に4000人の不足 介護人材の確保を急げ!

公明党の実績

団塊の世代が全員75歳以上になる2025年度に、市内で介護人材2万人が必要とされるなか、約4000人の不足が見込まれています。新たな介護人材の確保と施設職員の定着を図るため、県内初の介護ロボット無料貸し出し事業が実施されています。

市が貸し出しを行う介護ロボットは、CYBERDYNE(サイバーダイン)社製の腰に装着するタイプ・「HAL®」(重さ約3キロ)2台で、車椅子への移乗介助や入浴支援などにおいて、その作業負担を軽減するロボットです。

これまで公明党市議団としては、介護の現場における介護ロボットの活用は、新たな人材確保とともに施設職員の定着につながると訴えてまいりました。

今後も、さらなる先端技術を活かした介護ロボットおよび情報通信技術(ICT)の活用などにより、介護施設の働き方や労働環境の改善を推進してまいります。



介護ロボット体験シーン



市民の安心・安全を守る！

良好な水環境の保全とゲリラ豪雨対策について

公明党市議団として、南部浄化センターを視察してまいりました。同センターでは、家庭や工場からの汚水処理のほか、微生物の働きにより東京湾の赤潮発生の原因物質である窒素およびリンを除去する高度処理システムが稼働しており、消毒処理により綺麗になった水を海に放流していることを確認しました。今後も、良好な水環境を保全するための取り組みを推進してまいります。



南部浄化センター視察

雨水対策の重点地区を設定

近年、全国的に浸水被害が増大していることから、公明党市議団ではゲリラ豪雨対策の強化を求めてまいりましたが、千葉市雨水対策重点地区整備基本方針が策定され、1時間当たりの降雨量53.4mmから65.1mmに整備基準が強化され、新たに13重点地区が設定されました。平成30年度は、まず13重点地区の一つである千葉駅東口周辺の雨水管の強化対策が実施されます。

実効性のある受動喫煙対策について！

本市独自の条例制定を目指す

公明党市議団として、受動喫煙による健康への影響を踏まえた取り組みを要望し、千葉市受動喫煙防止条例の制定に向けての市長の所見を伺いました。

市長より、「受動喫煙対策は、市民の健康を守り、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の会場都市として環境を整備するために重要であることから、自らの意思で受動喫煙を避けることが難しい未成年者や労働者を守る視点で対策を検討するなど、国会での審議中の法律案の内容からさらに踏み込んだ本市独自の実効性のある条例の制定に早急に取り組んでいく必要があり、この機会を逃すべきではないと考えている。」との答弁がありました。

どの自治体よりも先駆けて、健康で住みやすい未来都市ちば構築のために、しっかりと受動喫煙対策への取り組みを重ねて要望しました。



全国的に「こども食堂」が広がっています！

千葉市の取り組みは…

地域の子供たちに、安価又は無料で食事を提供する「子ども食堂」が、全国で2,000か所以上となり大きく広がりを見せています。

こども食堂は、貧困対策や孤食の防止、子どもの居場所づくり、食育等さまざまな目的で各地で実施されています。



千葉市においては、どのような目的の取り組みを支援すべきか、さらには運営面で「食材の調達」「場所の確保」「安全管理」および「ネットワーク化」などの課題が挙げられています。このようなことから、公明党市議団としては、千葉市に求められる形態のこども食堂を提言するため、全国の先進事例の現場を確認し調査・研究してまいります。



多様な市民ニーズに対応するため！

日本行政書士政治連盟千葉会と意見交換

公明党市議団としては、市内の多くの諸団体との意見交換によりさまざまな立場の職務等について理解を深め、さらなる市民サービスの向上に向け取り組みを進めたいと考えております。



5月、行政書士の皆さんと、許認可等に関する業務について意見交換を行いました。

千葉市において、市民サービスの向上につながる行政書士との連携した取り組みを進めてまいります。